

てから36年もたっても、技術は完成していないんですね。

にもかかわらず日本政府は、効果の検証もしないで、1400億円するイージス艦を6隻とか、たくさんのPAC3ミサイルとかを買い続けています。

また、ミサイル防衛を理由にして、横田基地内に自衛隊の航空総体司令部を移すというのですが、そうなれば、全国にある自衛隊の28箇所のレーダーの情報がすべて米軍にそっくり渡ることになる。日本のアメリカへの従属をますますひどくすることになると思います。

3つ目に、論点が重なる部分もありますが、米軍・自衛隊の軍事一体化の中心に横田がなろうとしているということです。

米軍の行動に自衛隊が完全に組み込まれるという危険をはらんでいるということを強調したいと思います。

米軍再編反対、基地撤去の世論を大きく広げていこう

最後に、どう米軍再編反対、基地撤去の運動をすすめたらいいのかという点について、いくつかお話ししたいとおもいます。

一つ目は、米軍再編反対の運動は、基地撤去の運動とは違うということが大事だと思います。どういうことかと言うと、基地撤去には賛成できない人であっても、基地の強化は困るという人はたくさんいる。保守派の方もふくめて、基地の強化に反対するたたかいを大いに広げることが大事で、そのことは基地撤去の運動に必ずつながっていくことだと思います。

二つ目は、暮らしの目線で横田基地の問題にもとりくんでいくことが大事だということです。週刊誌が「占領地価は14.5兆円」という記事を書きました。横田基地は世界にある米軍基地の中で5番目に地価が高く、3564億円の価値があるそうです。そういう土地がとりあげられ、まちづくりを阻害しています。また、後期高齢者医療制度などをつくって社会保障予算を削る一方で、米軍には思いやり予算を年間2千億円以上も渡し続けていることの異常さも告発することが大事だと思います。

それから、戦後63年たっても、首都・東京に他国の基地が

ある異常さ、自衛隊と米軍が一体化していく異常さ、これらも世論に大いに訴えていくことが大切です。

草の根でどれだけの運動をおこしていけるかが鍵をにぎっています。ぜひ一緒に、基地のない平和な日本をつくるため頑張らしましょう。ありがとうございました。

横田基地の撤去を求める西多摩の会についての入会・お問い合わせなどは、高橋美枝子(042-555-1911)、鈴木拓也(080-1058-9450)まで。

小中一貫校説明会に会場いっぱいの参加者

9月17日に3中でおこなわれた説明会には、会場いっぱいの参加者があり、市の説明にたいして「4・3・2年に分ける理由がわからない」「二期制が学力低下の原因では。小中一貫は必要ない」などの質問・意見が参加者からだされました。次号以降で詳細いたします。



無料法律相談のお知らせ

10月14日(火)午後1時30分からです。

事前に予約が必要です。お気軽にご連絡ください。

・中原まさゆき 554-1163

・市川英子 554-1140

・鈴木たくや 080-1058-9450